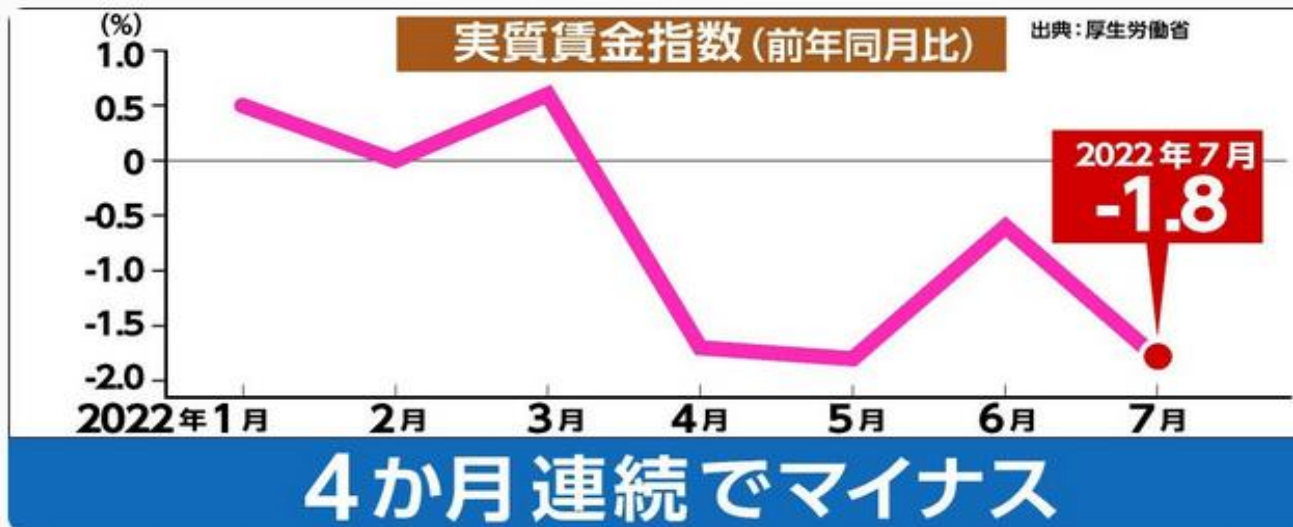


10月は3.4%消費者物価UP 直ちに賃上・最賃引上げ



こちらは、物価の影響を考慮した実質賃金のグラフです。

(2022年10月4日NHK クローズアップ現代より)
 * フランスでは、物価が2%上がれば「自動改正」される仕組み。1年の間に4回引上げて8%UPの時給1588円
 * ドイツでも10月から今年3回目の最賃引き上げで1724円(12ユーロ)。1年で22%引き上げ、EUが求める賃金中央値の60%を達成しました。
 * 東京では10月1日より1072円2・98%、31円引上げ
 しかしこれでは足りません。

ボーナスゼロは差別だ！

2021年4月から中小企業でも施工されたパートタイム・有期雇用労働法は、同一労働同一賃金の実現を求めています。ボーナスゼロはダメ！ 待遇格差については、社内で説明を求めることができます。(パート有期法14条)。

保育・介護・医療など公的賃金の引き上げを

政府は今年2月から、保育士らの賃上げ経済対策を実施。目安は「収入の3%程度、月9000円相当」。しかし10月からあがる公定価格で計算された保育園運営の委託費は、何にいくら使うかは経営者の裁量次第。賃上げできましたか？ 全国の保育士平均年収は約382万円。全産業平均より100万円ほど低い。

介護分野の職員も同様。正規・非正規問わずエッセンシャルワーカーの賃上げこそ必要。政府の施策も具体的に交渉しなければ実現しません。非正規労働者こそ、労働組合を！

	ドイツ	フランス
2022.10.1	12 € 1724 円	
8.1		11.06 € 1588 円
7.1	10.45€	
5.1		10.85€
2022.1.1	9.82€	
2021.10.1		10.25€
2021.7.1	9.6€	

介護施設職員や保育士らの月給 (残業代など除く)

介護施設職員	23万9800円
保育士	24万5800円
看護師	30万9100円
全産業平均	30万7700円

※政府の2020年賃金構造基本統計調査
(従業員10人以上の民間事業所)